

湘南日独協会 会報  
Der Wind  
(風)

湘南日独協会会報(Der Wind)  
VOL. 13. NO. 3. 通巻76. 発行 2011. 5. 8

湘南日独協会  
Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan  
事務局：〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1  
江ノ電第2ビル7F  
TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

3月11日に発生した東日本大震災では大勢の方がお亡くなり、また大きな被害を受けられました。心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。また同時に発生した原発事故によりさらに犠牲を強いられておられる方々にとり一刻も早い日常生活への回復を願わずにはおられません。5月9日の日独交流150周年記念「日独音楽家の集い」は、犠牲者への追悼を込めまた被災者への支援のための慈善音楽会と致します。音楽を楽しむと同時に被害を受けられた方々への思いを深めたいと思います。

湘南日独協会 会員一同

\*\*\*\*\*

ワイマールよりお見舞いのメール

東日本大震災に対し、ワイマール日独協会会長 Bauhaus さんから織田会長あてお見舞いのメールが届いています。一部を省略してご紹介いたします。

Lieber Herr Oda

Es ist einfach unvorstellbar, was das japanische Volk zur Zeit erleiden muss! Wir hoffen von ganzem Herzen, dass die nukleare Situation nicht noch schlimmer wird!!! Wir mochten auf jeden Fall helfen. Für heute Abend habe ich eine außerordentliche Vorstandssitzung einberufen. Wir werden darüber beraten, was wir tun können. Meine Vorstellung ist so:

1. Spendengelder einsammeln

Wir werden bei unseren Mitgliedern, meiner Ikebana-Gruppe und in der Öffentlichkeit um Spenden bitten. Außerdem werden wir von der DJG ebenfalls spenden. Ich habe inzwischen bereits mit dem Deutschen Nationaltheater gesprochen und weiß, dass das Sinfonieorchester ein Benefizkonzert veranstaltet. Die Einnahmen sollen ebenfalls gespendet werden.

2. Homestay anbieten

Wir können auf jeden Fall für Menschen, die Japan für einige Zeit kurzfristig verlassen möchten Unterkünfte bzw. Homestay anbieten. Bitte geben Sie uns Bescheid, wenn wir dafür etwas organisieren können.

Ich wünsche Ihnen lieber Herr Oda und allen Mitgliedern der JDG in Shonan alles Gute. Bitte passen Sie Alle gut auf sich auf. Ich hoffe, dass wir uns alle einmal gesund wiedersehen können.

Ganz herzliche Grüsse aus Weimar sendet Ihnen  
Ingrid Bauhaus

湘南日独協会の活動予定

■ 75回例会 「日独音楽家の集い」

日時 5月9日(月) 開演18:30

会場 鎌倉芸術館小ホール

チケット 前売り 1,000円

当日券 1,200円

■ 6月懇話会 「映画会」

日時 6月25日(土) 18:00~20:00

映画「嘆きの天使」

1930年製作のドイツ映画、マレーネ・デートリッヒ主演の名作、字幕スーパー

解説：西澤英明氏 当協会会員でヨーロッパ歴史研究家

会場 江ノ電第2ビル7階

会費 500円

■ 76回例会 「ビールのお話」

日時 7月24日(日) 13:30~

講師 吉田 克彦氏 当協会理事 モース研究会会員

「日本人による、日本人のための、日本初のビール」

長年のモース研究からビールに関する逸話が〜ビールの季節真っ盛り、ますますビールが美味しくなることでしょう!

会場 江ノ電第2ビル7階

会費 1,000円

講演会終了後会場を出てビールを皆さんで楽しみましょう  
参加費は別料金です

■ 8月の懇話会は休会の予定です

新入会員紹介

敬称略

川村 喜子 村田 絵里子 東 基衛

Bauhaus さんからのメールの大意

大震災の被害に遭われた日本の皆様のお役に立ちたいと思っています。そのために緊急会議を開き、次の二点を提案しました。1. は義援金を集めること。2. は短期間に日本を離れる希望をお持ちの方のお世話をする事。

湘南日独協会の皆様の善ない事を願っています。

## 独日協会会員来訪交流会を開催

4月14日フンドラン独日協会連合会会長を団長とする27名が来訪され、横浜、鎌倉の観光と稲村ヶ崎のレストランでの交流会に出席されました。東日本大震災の影響もあり来日を取りやめた会員もあり、当初予定の65名から27名へと参加者が少なくなったが、好天に恵まれ満開の桜を見ることが出来、多くのプログラムにも拘らずお元気で東京の宿舎へ戻られました。

横浜では林横浜市長の横浜開港資料館での出迎えを受け、みなとみらい地区を見学、鎌倉では報国寺、浄妙寺、光明寺、稲村ヶ崎のRobert Koch碑を訪ね、レストラン「ペーター」で湘南並びに横浜の日独協会の織田、早瀬両会長以下が参加し60名での大交流会となりました。

ドイツから持って来られた日独の歌集が配られ、能登理事のピアノ伴奏で大いに歌い交流を深めることが出来ました。

当日は荘林会員他伊藤、勝亦、大久保の理事も終日アテンドしました。



光明寺で (Dr. Martini 氏提供)



ペーターでの交流会 (M. Moench 氏提供)

ボン独日協会名誉会長 Moench さんからの礼状

Sehr geehrter, lieber Herr Oda,  
sehr geehrte Vorstandsmitglieder,  
liebe Mitglieder der JDG Shonan,

nun sind schon 8 Tage seit unserer Rueckkehr aus Japan vergangen. Aber unsere Gedanken gehen oft zurueck zu dem wunderschönen 14. April, an dem Sie uns im Historischen Museum empfangen und viele schoene Stunden in Yokohama und Kamakura ermoglicht haben. Im Namen von Frau Neuert und aller unserer Reisetilnehmer moechte ich mich bei Ihnen allen sehr herzlich bedanken. Der Aufenthalt in Yokohama erinnerte uns nicht nur an die Zeit vor 150 Jahren, es zeigte uns die Stadt von ihrer ganz modernen Seite. Da Sie alles bestens organisiert hatten, konnten wir unseren Zeitplan sehr gut einhalten. Dafuer einen besonderen Dank.

In Kamakura wurden wir von Ihnen wie durch eine Traumwelt gefuehrt. Wolkenloser Himmel, bluehende Sakura-Baeume mit Hanafukubi, Tsubaki und Sazanka, Bambus-, Kiefern- und Zedernwälder und der Ruf des Uguisu? schoener kann man sich einen Tag in dieser alten, historischen Stadt nicht vorstellen.

Auch der Freundschaftsabend mit guter Stimmung und Gesang trug dazu bei, dass alle Teilnehmer sehr beglueckt waren von diesem Zusammensein.

Unsere Rundreise verlief problemlos. Es war sehr schoen, dass wir manche von Ihnen bei der Konferenz in Nara wiedersehen konnten.

Unser tiefer Herzenswunsch ist, dass Ihr Land von weiterer Zerstoeerung durch Naturkatastrophen und nuklearer Verseuchung verschont bleiben moege. Wir hoffen so sehr, dass die Menschen in den Nord-Ost-Regionen von ihrem Elend durch vielseitige Hilfe befreit werden und das ganze Land sich schnell wieder von dieser Katastrophe erholen kann. In Gedanken und mit grossem Dank sind wir bei Ihnen. Al'es Gute Ihnen allen!

Marianne Moench

(大意: 湘南、横浜での歓迎に感謝しますそして大震災から早く復興されることを望みます。そのための協力は惜しみません)

## 「第三回日独パートナー会議」開催

東日本大震災発生のため全国日独協会連合会総会は延期されたが日独パートナー会議はプログラムを縮小し開催された。

日時 4月25日(月) 場所: ホテル日航奈良

シュタンツェル駐日大使等の挨拶に続き会議に入り短い時間ではあったが有意義な議論が交わされた。

「日独の絆を次世代にどう繋げ、若者世代の日独交流をどのように支援してゆくか」をテーマに、織田湘南日独協会会長を議長に、日本側は西島(豊橋)鈴木(群馬)橋本(栃木)の各会長が、独側は Vondran (DJG 連合会会長) Neuert 8 同副会長 Haas (Bremen 会長) Krischek (Saarbruecken 会長) など言された。

なお次回のパートナー会議は2014年ドイツでの開催の予定。

\*\*\*\*\*

## 2月の講演会吉田克彦氏「湘南日独協会発足の頃」を聞いての感想とお礼

皆様、こんにちは。

トーマスギュデ

ドイツのハレ大学で新連邦州での独日協会の設立や、その1990年後新しく出来た日独協会の日本の姉妹協会を調査する修士論文を書いている私は、2月26日の湘南日独協会の設立やワイマールとのパートナーシップをめぐる発表を聞かせ、設立の会員へ配ったアンケートへのご協力をいただき、まことにありがとうございました。本当に発表は面白かったですし、修論にとっても役に立っていると思っております。また、おいしい晩ご飯を頂きまして、とても楽しい夕を過ごせました。

色々をお世話になりまして、どうもありがとうございます。(筆者からのメールを原文のまま掲載しました)

## 3月の懇話会 伊藤ご夫妻による

## 「ワインよも やま話」

会員 大澤 由美子



伊藤一氏と箏の前の志津子夫人

ワインと言えばヨーロッパなのに、中国の古箏で「紡織忙」「春苗」「漁舟唱晚」の伊藤夫人による演奏が始まる。中国もずいぶん昔から葡萄酒を飲んでいたのでから・・・当時の人たちも、古箏の調べを聞きながら杯を重ねていたのかと、ふと、芳醇な葡萄酒の香りが漂ってくるようだった。その後、伊藤氏の話となる。

○赤玉ポートワインで「赤はポートだ」と自学したが、白玉ポートワインを知った時???となった。

○ゲルマン民族の移動でドイツにワインが入ってくるがルネサンスまでは一部の人達の飲み物であった。

○大航海時代に大量のワインを積んだ探検船が世界中にワインを広めた。

○赤ワインは室温、白ワインは冷やして飲むということではなく、リンゴ酸・炭酸・乳酸・タンニンの含有量で飲み方は決まること。

○ラクレットというチーズ料理には決まった白ワインだが、肉料理には赤ワイン、魚料理には白ワインとは限らない等々次から次へ面白い話が続きました。まさに、四方(よも)八方(やも)話でした。

ワ を楽しむ会では、ご夫妻が厳選されてご持参された十数種類の白ワインを(会場が居酒屋だったため)茄子の漬物・天ぷら・刺身・めざし等で飲んだが、これがなかなかいける。改めて、ワインの魅力を知ることになった。

\*\*\*\*\*

## 4月講演会「福島第一原子力発電所事故を正しく理解するために」に出席して

会員 勝亦 正安

3月11日の未曾有の大災害から1ヶ月以上を経過、地震と津波の災害からの復旧活動は徐々に本格化、さらには復興計画も取り沙汰される一方、福島第一原発の事故については、原子炉の冷却化と放射性物質の漏れ対策が思うような成果を挙げるに至らず、国際的な事故評価尺度で当初言われたレベル3乃至4は訂正され、最悪のレベル7が今月12日原子力安全委員会から発表されるに至った。これは、丁度25年前の4月に旧ソ連で起こったチェルノブイリ原発爆発事故並み、人によってはそれ以上に深刻な事態と言われる。

加えて、放射能に晒された東北産農水産物への出荷規制措置、さらには4月22日から実施の半径20Km以内立ち入り禁止措置等々と相俟って、地域周辺住民のみならず国民全体の不安はかえって高まっている。

こうした中、本講演会は、当初予定されていた映画会に代えて4月23日実施された。当日は、悪天候にも拘わらず多くの聴衆が出席した。講師は、原子力の専門家であり、当協会副会長松野義明氏。同氏は、長く日本原子力研究開発機構(JAEA)にあって高速実験原子炉の建設と研究開発に従事され、また、最近までロシア原子力潜水艦の解体プロジェクトの技術顧問を務められた。



講演される松野義明氏

原子の構造から始まって、放射性物質の定義、半減期の特徴、マスコミに頻繁に登場する放射能の強さ、影響を表す単位のベクレル、シーベルトの説明、具体的な人体への影響の目安、長期に亘り熱を出す厄介な使用済み燃料、原子炉の仕組み、「止める」、「冷やす」、「閉じ込める」の安全設計の基本的考え方、そして、福島原発事故の具体的内容とその意味等々、広範囲に亘る事項一つ一つを、講師はスライドを使って多数の図表上に素人にも分かり易く説明された。

纏めとして8項目に亘る今後の課題点を、原発専門家としての自省の意を込めて言及されたのが印象的であった。予定時間はたちまちの内に過ぎ、最後に「湘南の人々は安心して日を過ごして貰って結構、しかし、事態は深刻です。」と締め括られた。

国外でも大々的に報道された福島原発事故について、今後、事故原因の究明、安全対策と危機管理の妥当性、さらに、より基本的にエネルギー政策に絡めた原発推進策の可否が徹底的に検討されることになろう。その結果は国際的にも注目され、論議されるであろう。

これらは市井の凡人が考えるには余りにも大きなテーマであるが、政策、ひいては政治家を選択する権利を有する選挙民の一人として、筆者自身も考えて行かねばならない。この意味で、今回の講演会は極めて有益、教えられるところ大であった。機会あらば、本講演続編の実施を期待したい。

\*\*\*\*\*

ドイツ語講座の受講生を募集しています

関心をお持ちの方は以下へご紹介下さい

松野 Ter: 0467-32-7300

Fax: 0467-32-7387

e-Mail: matsunoy@kamakuranet.ne.jp

## 私とドイツ (5)

有希 マヌエラ・ヤンケさんと

「ミュンヘンポッポの会」 (その2)

会員 若林 倅子



マノン・ヤンケさんと筆者のご子息

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

有希・マヌエラ・ヤンケさんが在籍した幼児クラブの「ミュンヘンポッポの会」は、1986年4月5日に発足しましたが、その数日後にミュンヘンで大事件が起きました。それは、1986年4月26日に起きたチェルノブイリ原発事故です。1,500キロ以上も離れているミュンヘンとソ連のチェルノブイリ原発事故とどういう関係があったのでしょうか？

4月27日、スウェーデンで大気中に異常な数値の放射性物質が検出されて大騒ぎになりました。スウェーデンは自国で原発事故が起きたのか？ 或いは、核戦争が勃発したのか？・・・と疑ったそうです。何しろ広島型原爆400発が爆発した分の大量の放射能です。事故を隠していたソ連は28日になって事故の公表に踏み切ったのです。

大気中の放射能は大方の予想に反して偏西風に乘らずに南下して、南ドイツ、スイス、オーストリア上空に滞留して大気中から高い放射線量が検出されました。

「ミュンヘンポッポの会」の古いファイルには、在ミュンヘン総領事館から配布された「緊急回章 ソ連の原発事故による当地への影響について」と題するお知らせが残っていました。5月1日の放射線量は通常の5～6倍、2日には7～10倍に上昇と記載されています。「5月5日現在、牛乳1リットル当たり500ベクレルの基準値を越えるヨウ素131が検出されたことにより、生鮮牛乳は当分購入しないように、ハウス物でない野菜類は避け、一般野菜についても十分の洗浄が必要。特に、幼児に対しては雨水、砂、植物を口に入れないように注意する」趣旨のバイエルン州環境省の勧告が翻訳されて載っています。

南ドイツは現在の日本と同様に大騒ぎで、マスコミ報道も連日ブレイクしていました。ドイツ連邦政府の対応は早く、2日、東欧からの生鮮食品の輸入禁止、3日には農家に対する放牧の禁止命令、1リットル当たり500ベクレルを越える生鮮牛乳、1kg当たり250ベクレルを越える野菜類の販売禁止命令を矢継ぎ早に決定しました。

当時、息子は歩・マノン・ヤンケさんと共に、ミュンヘンの日本語補習校の小学部に入学したばかりでした。息子が記憶していることは、「好物のキノコSteinpilz (山鳥茸) が食べられなくなったこと」、4歳の娘は「お砂場で遊べなくなったり、雨に濡れては駄目、と幼稚園の先生に注意されたこと」、私は「毎年5月初めに、桜の若葉と蕨を取り、塩漬にして、1年間日本料理のおもてなしに色を添えていましたが、その年だけは、できなかったこと」です。

5月9日に演奏して下さるヤンケご姉妹のお母様も、3人の幼児を抱え、おなかには有希さんがいらした時です。で、どんなにご心配だったことでしょうか。当時の記憶をお尋ねしましたところ、下記のようなご返事がありました。「とにかく子供に安全な食料品確保に奔走しましたことは、今もよく覚えております。ミルクが買えず、安全と言われた粉ミルクの大きな袋を何人かのお母さんで買って分けたり、アルゼンチン産のお肉などを沢山買って、冷凍保存するために買った大きな冷凍庫は、今も当時の記念品で、地下に置いたまま利用しています。」

ドイツ国内では、福島原発事故を受け、原発反対の25万人規模のデモが起こっておりますが、このチェルノブイリ原発事故の経験から、環境問題に敏感になり、こうした運動が顕著になったように思います。

原発事故に関しては、過敏な反応を見せるドイツ人ですが、東日本大震災に関しては、あちこちの都市で被災者受け入れ運動などが起こり、昨晚もハンブルク独日協会会長から多くの義援金が集まったが、どこに送るべきか、というご相談を受けました。

ヤンケさんご兄弟姉妹も多くのチャリティーコンサートを開催して下さっているそうです。そうして、5月9日には、多くのドイツ人が逃げ出した日本に来て演奏して下さいます。「日独音楽家の集い」が楽しく、明日への復興への希望となるコンサートになりますように祈っています。

(了)

\*\*\*\*\*

## 編集後記

3月6日に前号を発行しました。その後大震災が発生し原発が世界的に大きな関心と呼んでいます。松野副会長の講演は非常にタイムリーで多くの会員の参加がありました。例会、懇話会のテーマをより一層検討したいものです。

本号にはドイツ後のメッセージを二つ掲載しています。どちらも早くお伝えすべきと判断し、紙面の都合で日本語訳は省略しております。今後につきましても大意を併記する形をとりたいと考えています。ご意見がございましたらお知らせ下さい。

明日5月9日は日独交流150周年記念音楽会です。このDer Windが会員の皆様に多くの情報をお届けできるよう努めます。

(大久保)

★★ 湘南日独協会のホームページ ★★

URL : <http://jdg-shonan.ciao.jp/index.html>

「全国日独協会一覧」からもアクセスできます。